

マナー&ルール

▶ プレー上の注意点

1. 対局の開始時（終了時）は挨拶を交わしましょう。
2. 山積みは牌を完全裏返しで混ぜ、全ての牌が裏返しの状態で積み始める。
3. 牌山を全員が前に出し、井桁の状態にしてからサイコロを振ったときのみ出目を認める。
親は第一打の前に、全員の配牌完了、リンシャン牌の移動、ドラの表示を確認しましょう。
4. 全ての行為は発声が最優先です。発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう。
5. 言動や態度には細心の注意を払いましょう。
 - ①手牌に関する発言は誤解を招くので口にせず、局途中や局終了後の解説は禁止。
 - ②牌を力チャカチャするなど用具を傷つけないようにしましょう。
 - ③立て膝、肘を卓につく、足組などは慎み姿勢良くゲームをしましょう。
6. 発声する際は「それポンします」等は言わず「ポン」のみ発声しましょう。
7. 捨て牌は六枚切りにし、打牌は強打せず、「發ポン」など呼称せずに捨てましょう。
8. 常に手牌は立てておき、アガった人は見易く並べてから倒しましょう。
9. 流局時にノーテンなら止めた牌等見せず、他家のアガリ時も静かに伏せましょう。

▶ ルール

- ◆喰いタンあり・後付けあり（アガった瞬間に1翻あればよい）。
- ◆東南戦、3万点持ち、1ゲームの時間制限あり（打ち掛け局終了まで）。
- ◆記録はスタッフが記入、合計が多い時はトップから引き少ないとそのまま。
- ◆順位点自動計算(1着+1万点/2着+5千点/3着▲5千点/4着▲1万点)で同着は上家上位。
- ◆ノーテンは場に3千点。形式テンパイあり。連チャン（聴牌連チャン含む）あり。
親がノーテンなら親流れでオーラスなら終了（残ったリーチ棒は誰のものにもならない）。
- ◆場積み（1本場等）なし。
- ◆4翻30符（役+ドラ）は子で8,000点・親で12,000点に切り上げ。
- ◆あがり者は常に一人（同時あがりは頭ハネ）。
- ◆役満のパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をポンあるいは
カンさせた時とし、ツモは全額・ロンは半額負担。役満はシングルのみ。
- ◆途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし。
- ◆人和なし、カン振り役なし、嶺上開花ツモでの責任払いなし。
- ◆喰い替え可。二三四の一萬をチーして四萬を捨ててもよいので打牌による制限は一切なし。

▶ リーチ

- ◆フリテンリーチ可能。 ◆リーチ後のツモ牌選択あり（安目をツモって捨ててもよい）。
- ◆一発・裏ドラ・カンドラあり。 ◆ノーテンリーチは流局時にチョンボ。
- ◆リーチ後の暗カンはメンツ構成が変わらない場合のみ。

▶ 罰則 ※ルールはじめ、罰則の運用、すべての判断は審判に従う

- ◆チョンボ フリテン等で手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は他家に
5,000点ずつをその場で支払い。その局はやり直しとなる。
その局のリーチ棒は供託した人に戻す、親は移動しない。
- ◆アガリ放棄 誤発声はすべてアガリ放棄、それ以降の発声行為は出来ず、ノーテン扱い。
補足：①「待って」等の他家が誤解する発声をした際、すぐ何か行動をしなければアガリ放棄。
②アガリ放棄後に、もし発声行為をした場合はチョンボにせず行為を戻し続行する。